



KYORITSU
共立印刷株式会社

2014年3月期第2四半期決算説明会
2013.12.13

経営理念

顧客満足の徹底

「日本一まじめで品質のいい会社をつくろう」

「あたりまえのことを、あたりまえに
ただし、徹底的に」

工場の概要



■ 独自の大規模集約工場設計

- ・ 輪転機34台が稼働する
全国最大規模のオフ輪工場
- ・ 土日を含め24時間稼働
- ・ 材料の納入～製品の出荷まで
全行程オートメーション化
- ・ デジタル化を推進
本社からデジタル回線で
データ送信
- ・ 徹底した省エネ対策

■ 6工場集約メリット

- ・ 材料、製品の一元管理
巨大用紙倉庫
3.5トンインキタンク
- ・ 工場間の転送費を低減
- ・ 人員の効率配置

■ 納入、出荷の地理的優位性

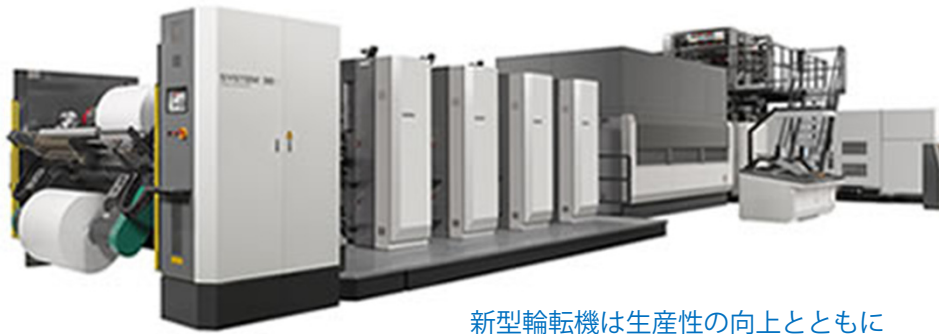
- ・ 本庄児玉IC直結
関越で都内へ90分
- ・ 本庄早稲田駅隣接
新幹線で都内へ50分

■ 労働人員戦略

- ・ 定着率の改善
東北採用、寮完備
- ・ 輪転機の対面配置で
3人2台制御の少人数生産
- ・ 多能工教育
- ・ 原価計算システムに対応

2Qトピックス

- 7月 AY輪転機を1台設置し、「輪転機33台体制」へ



新型輪転機は生産性の向上とともに
電力・天然ガスの使用量を低減

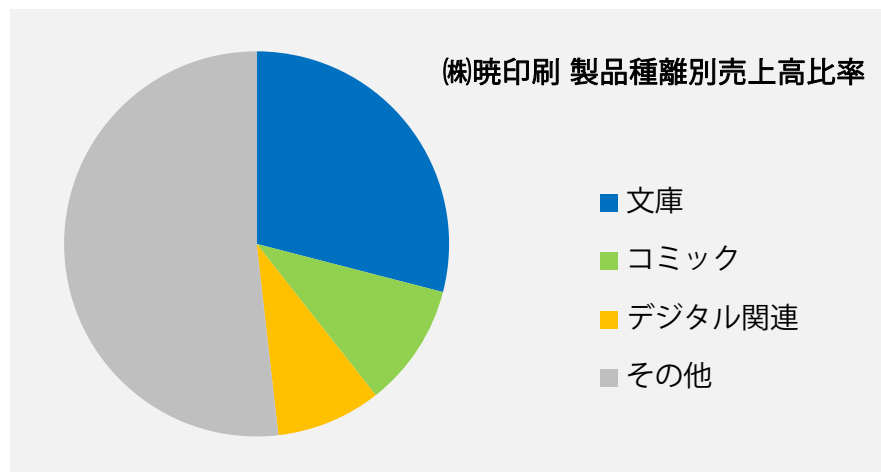
- 8月 印字機を1台増設し、両面可変等DM対応力を強化

印字幅の広さが当社DMの特徴



2台連結で、
両面を同時に可変印字

- 4月 出版印刷を得意とする(株)暁印刷を連結子会社化



- 7-8月 公募増資・第三者割当増資を実施

発行済株式数

第2四半期連結累計期間の増加数	7,000,000株
第2四半期連結会計期間末の数	48,630,000株

資本金

第2四半期連結累計期間の増加額	8億2千4百万円
第2四半期連結会計期間末の額	33億3千5百万円

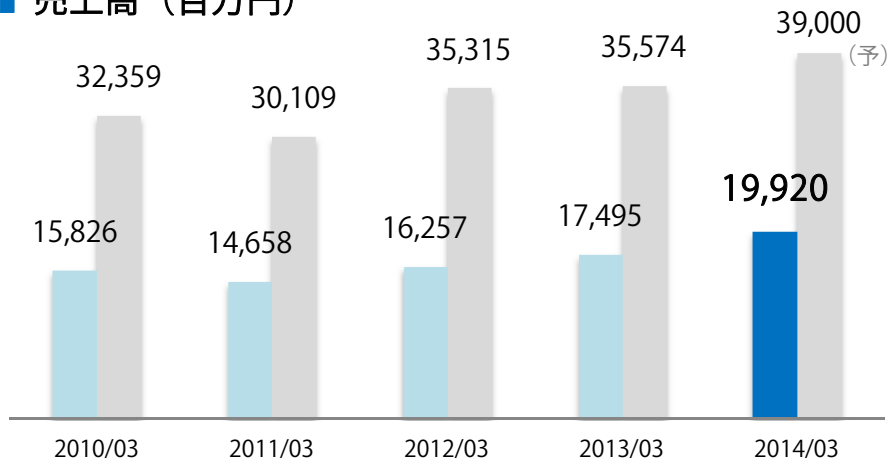
資本剰余金

第2四半期連結累計期間の増加額	8億2千4百万円
第2四半期連結会計期間末の額	33億2千9百万円

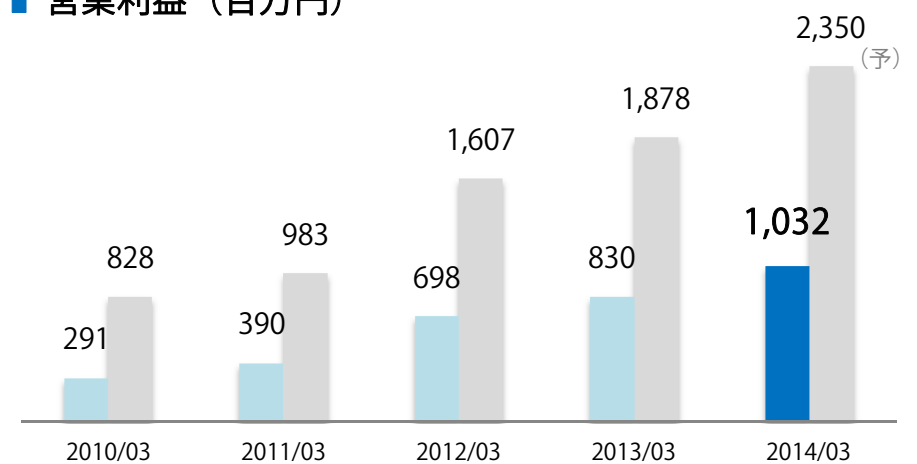
連結P Lハイライト

■ 2 Q ■ 通期

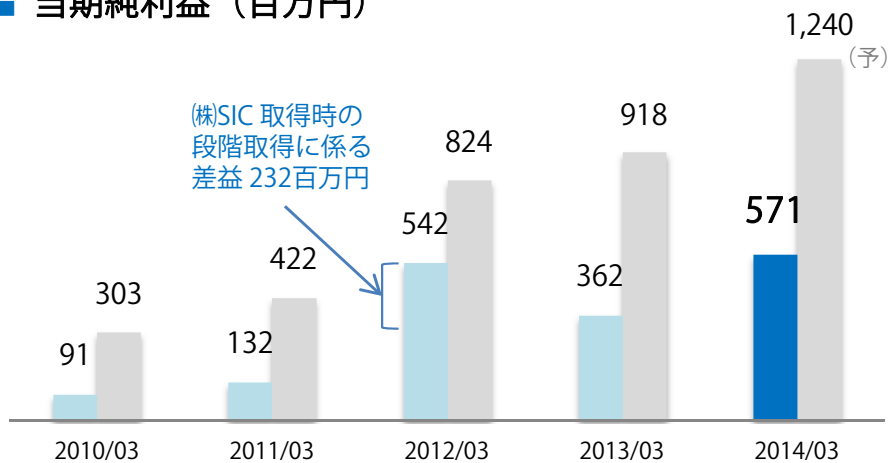
■ 売上高 (百万円)



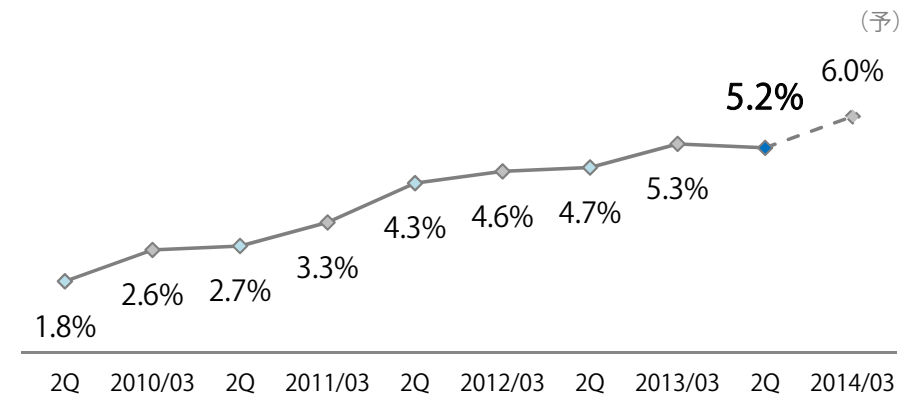
■ 営業利益 (百万円)



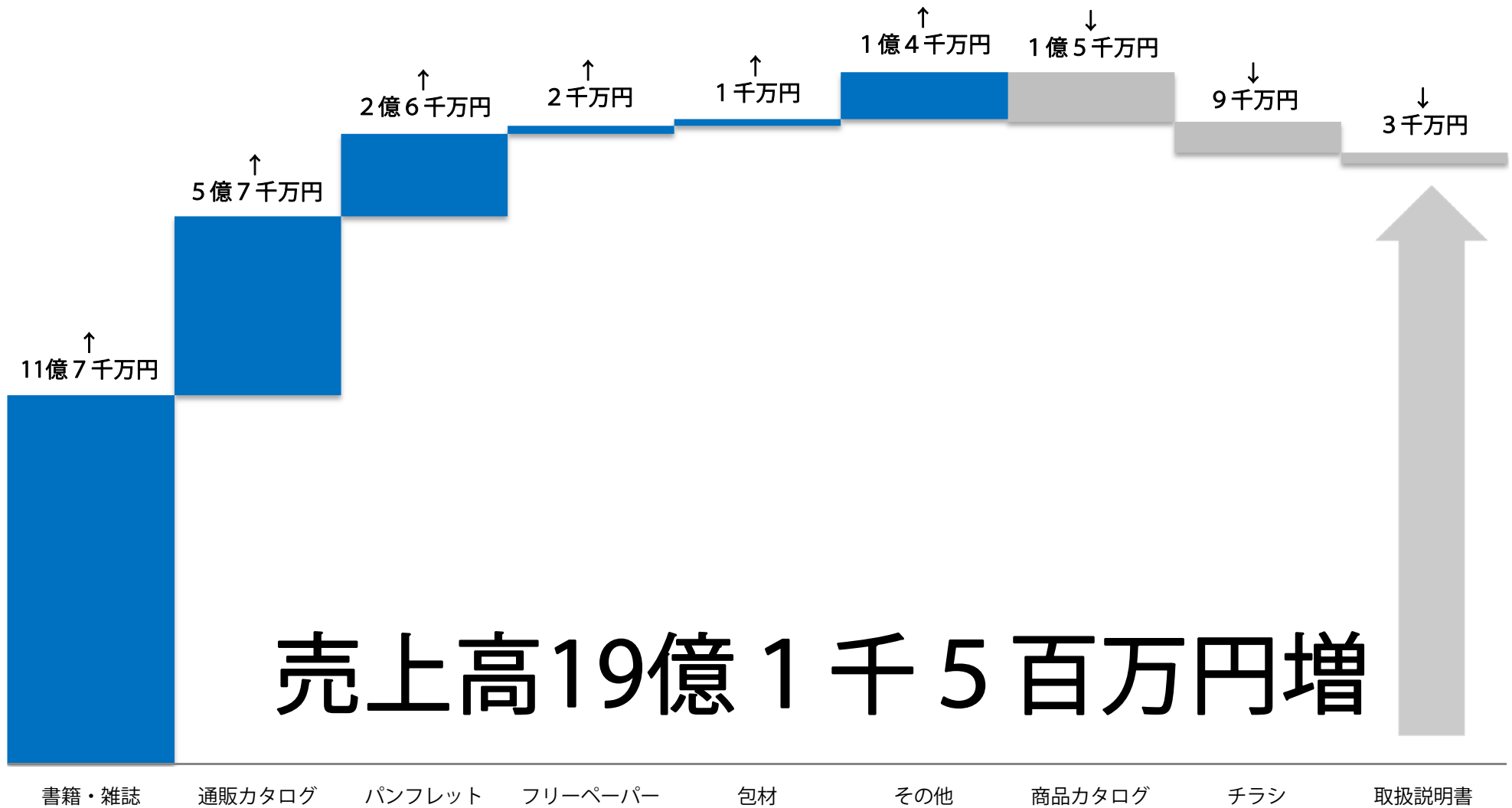
■ 当期純利益 (百万円)



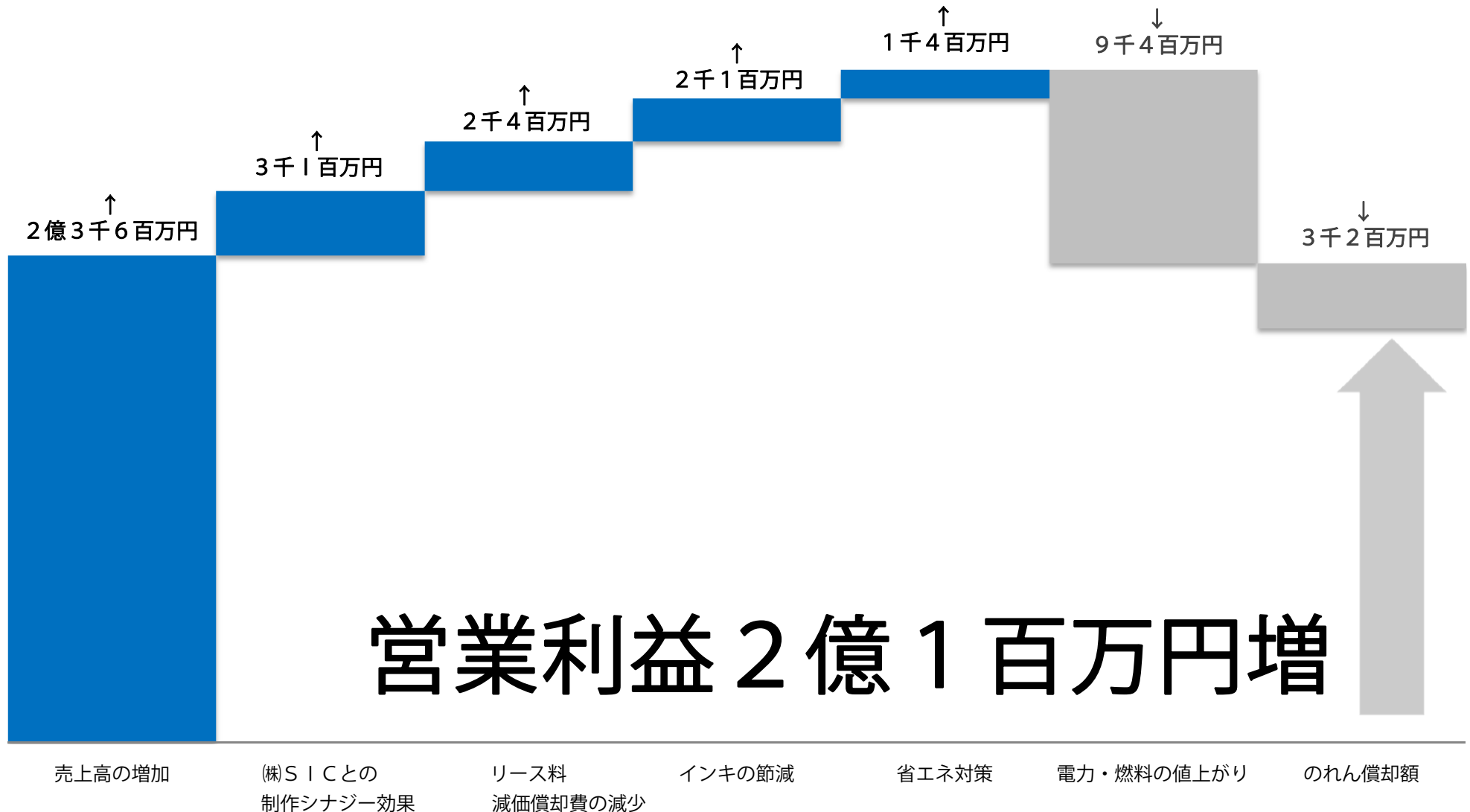
■ 営業利益率 (%)



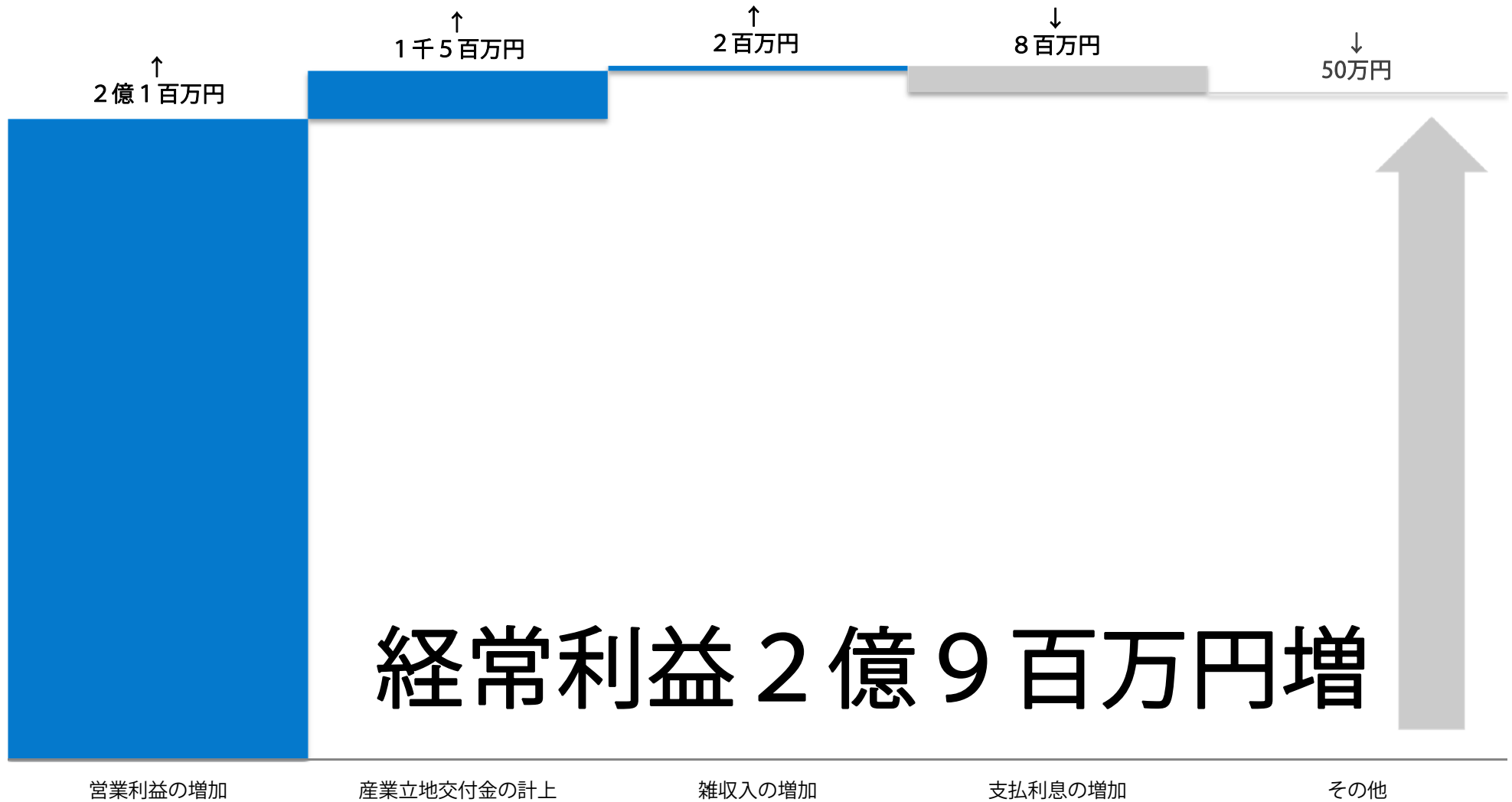
連結売上高



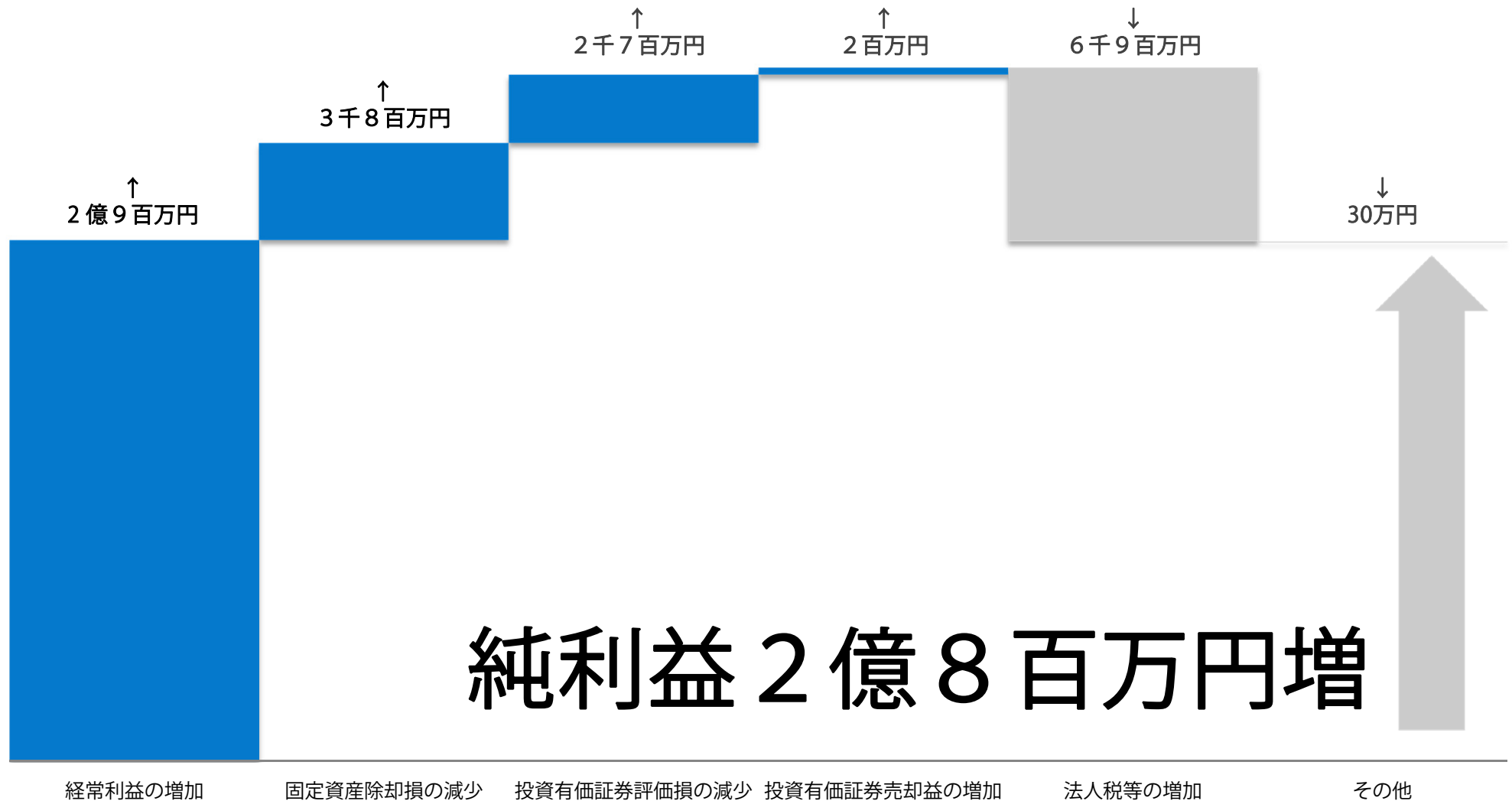
連結営業利益



連結経常利益

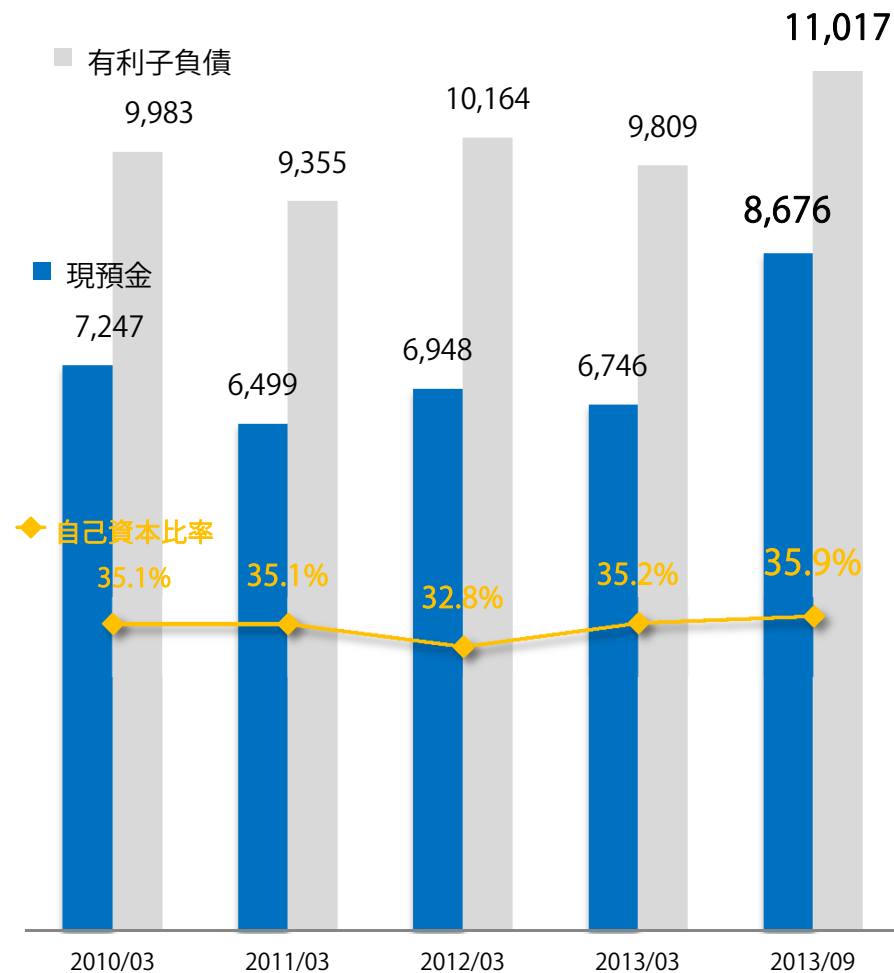


連結四半期純利益

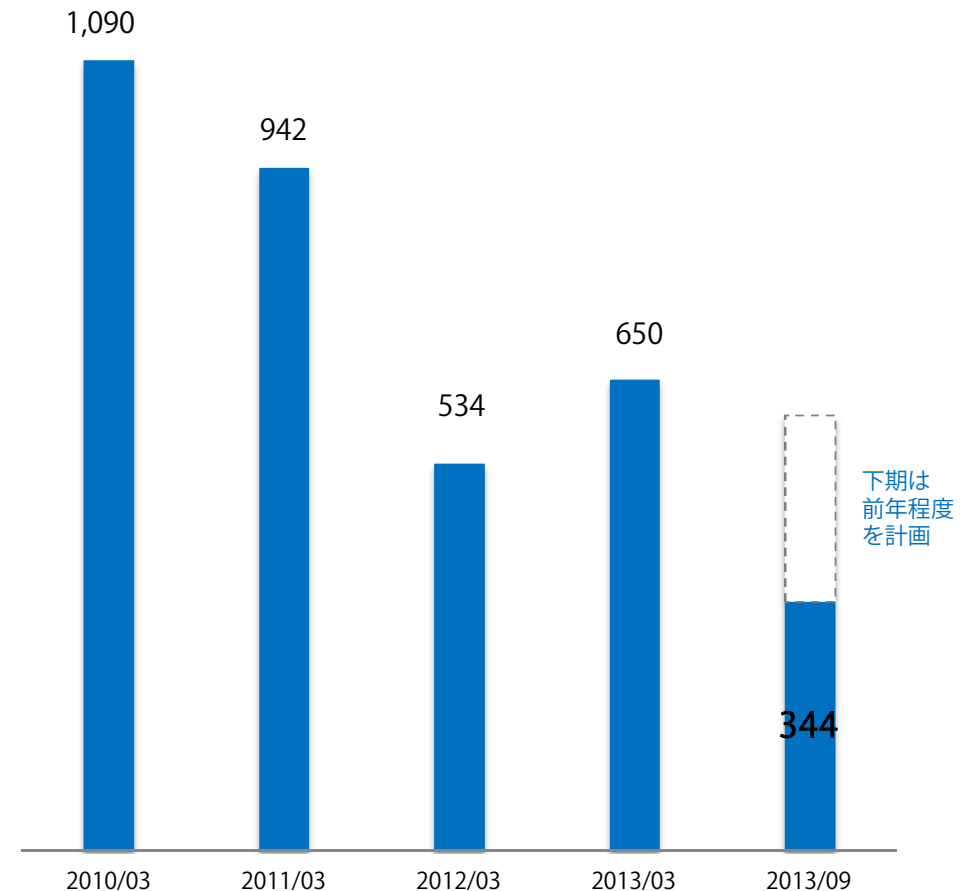


連結BSハイライト

■ 現預金・有利子負債・自己資本比率（百万円・％）



■ 設備投資額（百万円）



材料・燃料市場の動向

■ 紙

製紙大手

2013/7 15%の値上げを表明

2013/11 10%の値上げを表明

→ 本社に一本化している用紙管理部が各仕入先と交渉中

■ インキ

インキ大手

主原料価格の高騰により、2013/9以降値上げを開始

大手値上げ幅（1kg当たり）

オフ輪インキ 30～40円

枚葉インキ 40～60円

→ 今後、当社仕入先もインキ単価追従値上げの可能性

■ 電気

2012/11から値上げした新単価を適用＋燃料調整費

上期 月1,300万円程度の電力費増加

2013/11以降は燃料調整費分のみ（月600万円程度増）

→ 年間 1億2千万円（20%↑）の電力費増加見込み

・ 冷却水発生装置用の輪転機排熱利用システムを開発

夏場 月150万円を節電 → 冬場は効果なし

・ 工場のかまめな節電活動

上期 1,000万円の節電 → 下期も継続

■ ガス

当社仕入先

天然ガス安定供給に向け、原料ガスのLNG混合率を増加

現在 国産天然ガス：輸入LNG＝73%：27%

↓ 2013/8から試運転を開始し、2014年初に操業

今後 国産天然ガス：輸入LNG＝63%：37%

→ 2014年に、10%程度ガス料金値上げの可能性

今後の戦略①営業

■ 更なる営業力の強化

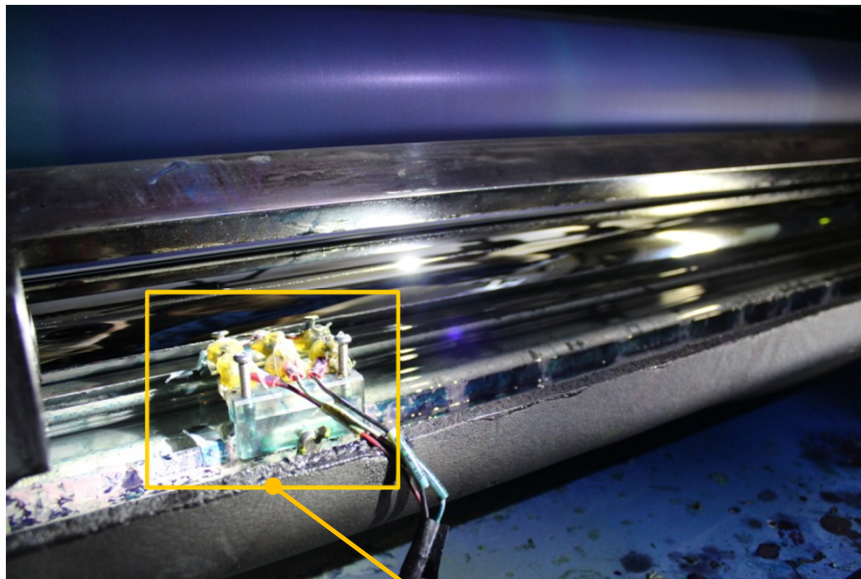
- ・ コンサル、研修を通じて
営業のレベルアップを図り、新規顧客の獲得増
- ・ 仕事量の増加への対応は
内製・外注を適切に判断し、利益を最大化
- ・ 新規設備の稼働率を上げ、利益率の高い仕事を着実に確保



今後の戦略②インキ

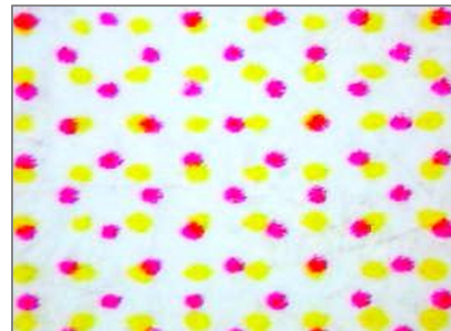
■ インキ使用量の少ない印刷手法の追求

- ・ 湿し水を最小化し、刷り上がり品質を向上
- ・ 電気、ガスの削減にも効果あり

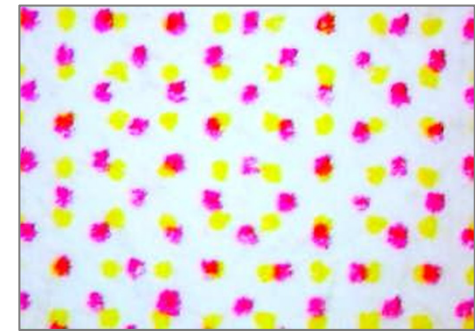


湿し水の水位を適性な水準に保つ

正常な網点



水が多く形が崩れかすれた網点

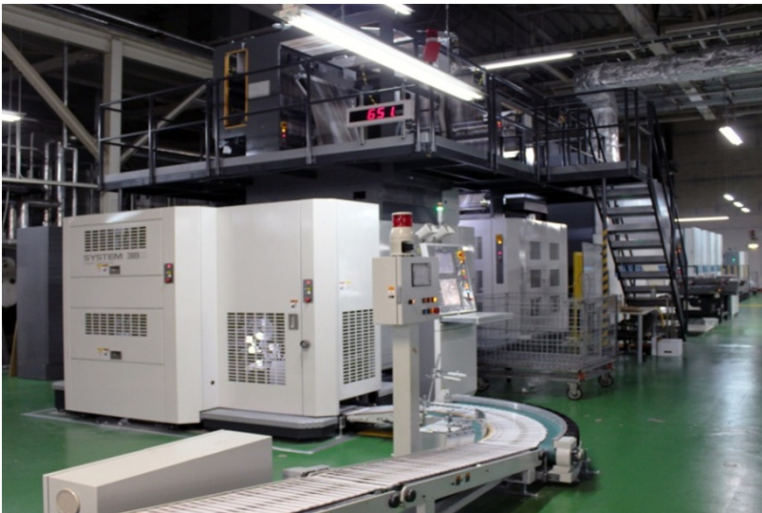


版にのる湿し水が少ないほうが、インキが少なくてよくなる一方、版全体に同じ量の湿し水を供給するためのより高度なオペレーションが必要になる

今後の戦略③輪転印刷

生産性アップ・省エネ強化

- ・ 2013年2月7月11月に高生産性、省エネ型 A Y 輪転機を 3 台設置完了
- ・ 輪転機にインライン加工機能を付加し製造時間を短縮
- ・ 排熱利用の省電力装置を本庄第 2 工場にも設置



2013年11月に設置した A Y 輪転機



輪転機で印刷後、折り→断裁しインラインで表紙等 4 P を製造



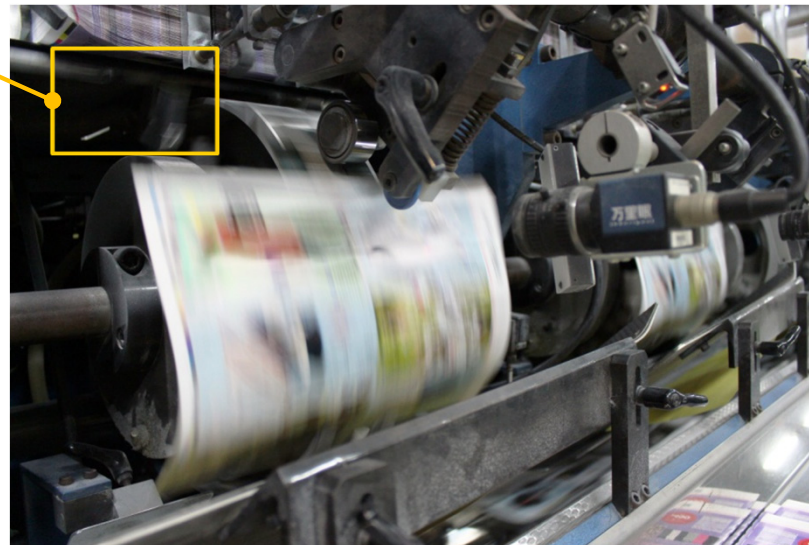
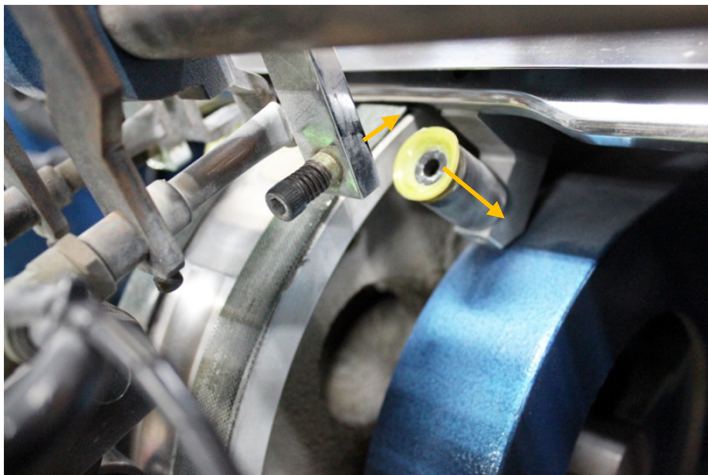
排熱で湯を沸かし、湯を動力源に利用

今後の戦略④中綴製本

生産性アップ・省エネ強化

- ・ 省エネ型の中綴製本機へ設備更新予定
- ・ 製本機のブロアー（紙サバキ部分）の省エネ化

エアーの「吸い取り」と「吹き出し」により
刷本から、一部ずつ、高速で抜き取ります



エアー使用量を感知し、電気を必要
最小限に抑える省エネ型ブロアー



今後の戦略⑤新領域

DMはバリアブルを極めて差別化

- ・業界初の、ワンストップの両面カラーバリアブル印字
- ・広い印字幅でより多くの情報を受取人に合わせた内容に的確にターゲティング

①住所・氏名を
バリアブル印字



②住所の最寄りの
店舗を印字

③「男性」の「新社会人」には
新入社員が選ぶスーツランキング
など、男性の新社会人向けの
コンテンツを印字



④前回スーツ購入時の
サイズを印字

⑤抽選会の
ナンバーを印字

包材は顧客の使いやすさを追求

- ・ワンタッチで開く箱の、営業提案
- ・折りぐせ、糊の調整など現場発の改良



箱を立ち上げるだけでワンタッチで組立

今後の戦略⑥グループ

■株式会社S I C

2011/9に連結子会社化

- ・ 好調な旅行情報誌の取込（毎月170万部の旅行情報誌を会員に配送）
- ・ 制作、製造のグループ内連携によるコスト低減

■株式会社暁印刷

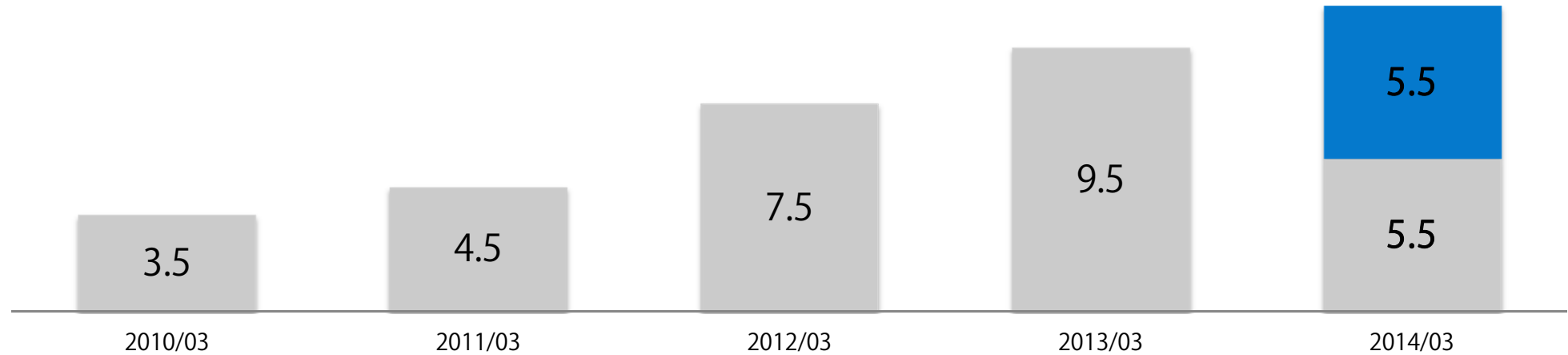
2013/4に連結子会社化

- ・ 暁印刷の設備の活用
- ・ 共立印刷の経営ノウハウを注入し、人事・組織・企業体質を改革

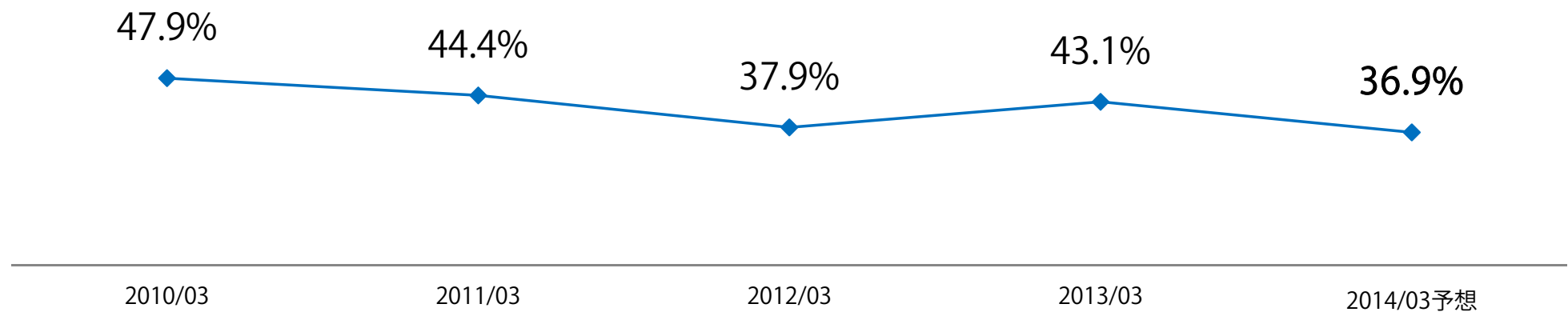
配当予想

■実績 ■通期予想

■ 1株当たり配当金 (円)



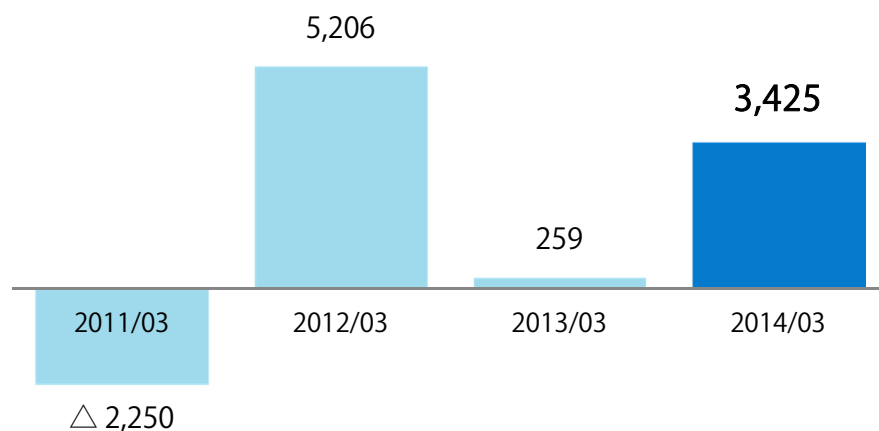
■ 配当性向 (%)



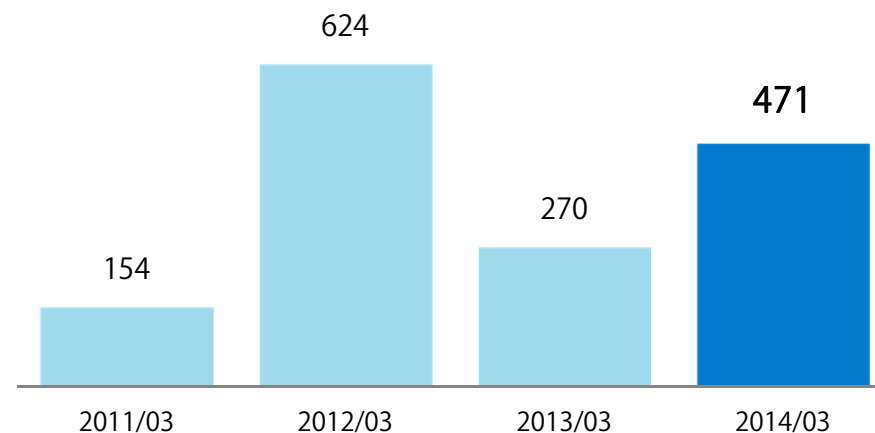
連結業績予想

百万円	2013/03		2014/03 予想		対前期比
売上高	35,574	100.0%	39,000	100.0%	+3,425
売上原価	30,831	86.7%	33,190	85.1%	+2,358
売上総利益	4,743	13.3%	5,810	14.9%	+1,066
販売管理費	2,864	8.1%	3,460	8.9%	+595
営業利益	1,878	5.3%	2,350	6.0%	+471
経常利益	1,686	4.7%	2,060	5.3%	+373
当期純利益	918	2.6%	1,240	3.2%	+321

■ 売上高 増減額（百万円）



■ 営業利益 増減額（百万円）



CORPORATE PROFILE

2013/12現在

■ 会社概要

会社名	共立印刷株式会社
事業内容	総合印刷業
本社	東京都板橋区清水町3-6-1
営業所	札幌／名古屋／大阪／高松
従業員	662名（連結）
資本金	33億3,581万円
上場	東証市場第一部 7838
HP	http://www.kyoritsu-printing.co.jp/

■ 役員

代表取締役会長兼CEO	野田 勝憲
代表取締役社長兼COO	倉持 孝
取締役	中井 哲雄
取締役管理本部長	佐藤 尚哉
常勤監査役	川尻 建三
監査役	窪川 秀一
監査役	木村 純

■ お問い合わせ

管理本部	取締役管理本部長	佐藤 尚哉
TEL	03-5248-7801	
MAIL	shsato@kyoritsu-printing.co.jp	

■ 工場

印刷工場
本庄第1・2・3工場
製本工場
製本第1・2・3工場

■ 主な設備

印刷機	
輪転印刷機	34台
平台印刷機	3台
オンデマンド印刷機	3台
印字機	2台

製本機

中綴製本機	24台
無線綴製本機	6台
オンデマンド対応製本機	2台

加工機

ラッピング機	2台
サクマシン	1台
ラミネーター	2台
圧着機	1台